

京 都

京都府支局
京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2
府庁西別館内
075・441・3660



モモ断面の撮影

和牛肉の品質評価を数値化

今後は、枝肉重量や脂肪交雑など評価基準となる枝肉6形質に加え、小ザシ、モモ抜け、オレイン酸含有率についてもゲノム育種価の高い雌牛の受精卵を活用して、京都府内の和牛の改良に取り組んでいく。

和牛肉の品質評価を数値化

畜産センターは、食肉事業者が和牛肉（霜降り）の品質評価の指標とする「小ザシ」と「モモ抜け」を数値化する手法を新たに開発した。

デジタルカメラで撮影したロース断面やモモ断面の画像を白黒二値化処理し、脂肪の割合などを、全国和牛登録協会との連携で、遺伝的能力を数値化したもの（DNA配列から個体の遺伝的能力を数値化したもの）の推定に取り組んでいる。



ロース断面の撮影

畜産センター

京都府農林水産技術センター
ほっとニョース

算出。同センターが考案した数式に代入して数値化することにより、小ザシは5段階、モモ抜けは4段階で評価できるようになった。

同センターでは、小ザシ、モモ抜けと、脂肪の（DNA配列から個体の遺伝的能力を数値化したもの）の推定に取り組んでいる。

地域計画の実現に向けて 「農地農業相談」と「運営定例会」を開催

木津川市農業委員会



運営定例会で地域計画の実現に向けて協議する参加者（2月16日、加茂西部地区）

木津川市農業委員会では、本年度から市内17地域で「農地農業相談」と「地域計画運営定例会」を開催している。農業委員と農地利用最適化推進委員が各地区の集会所などで農業者の相談に応じながら、地域計画の実現に向けた農業関係者の協議をリードしている。

農地農業相談は、隔月で開催し、昨年7月から今年3月までに延べ47回実施した。「高齢で後継者がいないので農地を預けたい」「近隣で耕作できる農地を探している」などの相談があり、農業委員や推進委員の活動を通じて、新たな耕作者につながるなどの成果が生まれた。

運営定例会は、昨年11月と今年2月に開催し、地域計画の実現に向けた推進体制や具体的な取り組みについて協議した。認定農業者や集落の代表者、JAなど関係機関の職員が参加し、農業委員や推進委員と活発な意見交換を行った。

多くの委員が「まずは可能な取り組みから実行して、農業者の協力を得ながら担当地域での取り組みを進めていきたい」などと前向きに受け止めており、今後の活動が期待されている。

（木津川市農業委員会）

「地域計画」更新に向けて地区連を開催 農業振興について市長と意見交換

八幡市農業委員会は、昨年7月と12月、市内3地区（八幡、都々城、有智郷）で農家実行組合長や認定農業者が参加する地区連絡会議（地区連）を開催し、地域計画の更新に向けて協議を行った。

耕作者別に着色した農地の現状地図を広げ、参加者による話し合いを行った結果、「担い手に集積・集約化して効率化を図る方がよい」「用排水路の改修

が必要」など、地域農業の課題や今後の取り組みについて、各会場で多くの意見が出された。

市農業委員会の奥村芳治会長と古里治彦副会長は、1月9日、年始の挨拶で川田翔子市長と面会した際、市農業の現状を踏まえて「担い手農家に対する経営支援の充実」や女性農業委員の登用促進、農産物の盗難対策について意見交換を行った。

（八幡市農業委員会）

八幡市農業委員会



各集落の農家実行組合長と担い手農家が参加した有智郷地区連絡会議（昨年12月1日）

女性農業委員・推進委員の会



研修交流会では、田草の全員が他市町村の委員で意見交換（2月26日）

今年の改選で 女性委員を増やそう！

登用促進に向けた取り組みを申し合わせ

きょうと女性農業委員・推進委員の会（山下明子会長、会員62人）は、2月26日、京都市内で総会を開催し、今夏に改選が行われる19市町村で女性委員の登用促進に向けた取り組みを強化することに申し合わせた。

茶畑からSNSで発信！

茶農家の杉ちゃん
和束町 杉本竜一さん



茶畑からSNSで発信する杉本さん

和束町出身で実家の茶畑（約4畝）を父から受け継いだ杉本竜一さん（28）は、SNSで田舎の茶農家の現実を発信し、若い世代に日本茶への関心を持ってもらう活動に力を注いでいる。

高校卒業後、歌手をめざして専門学校に進み、テーマパーク（USJ）勤務やイギリス留学を経験した杉本さん。

「この茶畑と父から教わった日本茶を未来に残したい」という思いから、茶農家インフルエンサーをめざして、インスタグラムで発信している。

茶の栽培から販売まで一貫した農業経営をめざす杉本さんの挑戦を「茶農家の杉ちゃん」で検索し、応援してください。

（和束町農業委員会）

女性委員が “つないで発信”



1年生教室で行った「#やべえーあやべ茶をのみくらべてみよう」の授業

田楽（でんがく）学校で「あやべ茶」の授業を担当

当。参加者から「やっぱりお茶はおいしい」「うちに茶の木があるけど管理はどうしたらいい？」などの感想や質問をいた



とを申し合わせた。

具体的には、地域の話し合いに女性の参加を働きかけたり、女性の意見を農業委員会の組織運営に反映するために女性委員を増やす必要があると、各会員が努力して、来期も委員に就任する（助言者）を配置し、プ

掘し就任できるまで応援する。③今期で交代する委員は後任者を推薦する。④の3点を申し合わせ

また、2026年度の活動計画を協議し、新任委員の不安を解消するため先輩委員のメンター（助言者）を配置し、プ

4月から「京都府版」に「かわり「地方総合版」をお届けします。

お知らせ